ＧｅｏＫａｒｔｅⅡ　ＧＰＳ（工場オプション）機能について

2004.6.14
日東精工㈱ｼﾞｵｶﾙﾃ製造課

（１）ＧＰＳとは

ＧＰＳ（Global Positioning System：全地球測位システム）は、アメリカ合衆国によって、航空機・船舶等の航法支援用として開発されたシステムです。このシステムは、上空約２万㎞を周回する複数のＧＰＳ衛星の追跡と管制を行う管制局、測位を行うための利用者の受信機、アンテナで構成されています。複数のＧＰＳ衛星からの距離を同時に知ることにより、自分の位置等を決定します。ＧＰＳ衛星からの距離は、ＧＰＳ衛星から発信された電波が受信機に到達するまでに要した時間から求めます。
以下、GeoKarteⅡにおけるＧＰＳ機能についての説明をします。

（２）ＧＰＳ機能の利点

制御装置（コントローラユニット）にＧＰＳ受信器とアンテナを取り付けることにより、貫入試験位置（緯度、経度）を試験データに添付することができます。このことにより試験位置が明確となり、様々な位置で試験をする場合でもデータの間違いを防止できるようになります。

「ＧＰＳアンテナを取り付けた状態」

（３）試験位置データの出力例

GeoKarte2 No.123-456-789-0000-01
04/06/14　12:00
D　Wsw　Na　観察　Memo

0008 0.50 自沈 ｵｿｲ
0012 0.75 自沈 ｵｿｲ
0025 1.00 2.3
0050 1.00 10.5

試験終了時刻 12:10
Mode 0

GeoKarte2 No.123-456-789-0000-01
GPS 測位情報
経度 3518.5051N
緯度 13514.4630E
海抜高度 000000.0M

「内臓プリンタによるプリントアウト例」

Gｸﾞﾗﾌ　04年06月14日12:00.gtd ［標準データ］
ﾌｧｲﾙ(F)　ﾃﾞｰﾀ通信(T)　ﾃﾞｰﾀ入力(I)　ｸﾞﾗﾌ(G)　ﾃﾞｰﾀ(D)　ｵﾌﾟｼｮﾝ(O)　ﾍﾙﾌﾟ(H)
開く　保存　印刷　通信　グラフ　まるめ

試験コード 000-000-000-0000　測点番号 01　最終貫入深さ 0.50 m
試験時間 2004年 6月 14日 12時00分～12時10分
GPS測位 緯度 3518.5051N 経度13514.4630E 海抜高度000000.0M

D (m)	Wsw(kN)	Na	Nsw	観察	土質	換算N値
0.08	0.50	自沈	0	ﾊﾔｲ	粘性土	1.5
0.12	0.75	自沈	0	ﾊﾔｲ	粘性土	2.2

「Ｇグラフによる表示例」
＊現在Ｇグラフの印字には対応していません。

（４）注意事項

- ＧＰＳ機能を使用する場合はパラメータの設定が必要です。設定項目や操作方法については、GeoKarteⅡ取扱説明書を参照ください。
- 位置データの取得には３機以上のＧＰＳ衛星からの電波が必要です。屋内や建物の間など電波の状態が悪い場合は位置データを取得できません。
- 位置データの取得には数分かかります。（電波状態により時間は異なります。）
- 位置データには数m～数十mの誤差を含みます。